



10月1日

お弁当配布事業

例年9月に開催している敬老会が新型コロナウイルス感染症予防のため中止となりましたが、代替事業として希望者へお弁当等が配布されました。

「長生きして良かった」などたくさんの喜びの声がかれました。

2020
No.42

令和2年11月1日発行

9月定例会

- 歳出総額28億5760万円を認定 (平成31年度決算) P2~5
- 一般会計補正3400万円
災害に備え防災倉庫や避難所備品の購入費を可決 など P6~9
- 委員会活動 P10
- 一般質問 村政を問う!! P11~13
- 村長へ要望書を提出 P14
- 議会だよりモニターが決まりました! P15
- 村民の声「子供も大好き!手作りパン」 P16



道の駅なるさわ 第一駐車場を整備

● 全会計を審査 ●

定例会開会日に予算決算常任委員会へ付託された「平成31年度決算認定」について、2日間にわたり委員会を開催した結果、いずれも賛成全員にて原案のとおり認定すべきものと決しました。

平成31年度は、老朽化した道の駅なるさわ第一駐車場を国の交付金を活用して整備したほか、小学校・保育所へのエアコンの設置や、小学校パソコン教室の機器更新、ボルダリングウォールの設置など、様々な事業が実施されました。（詳細はP4～5に掲載）

また、多くの事業でふるさと応援寄附金（ふるさと納税）が活用されました。



昨年12月に道の駅駐車場工事の進捗状況を視察

● 監査委員意見要旨 ●

監査委員 梶原先勝・三浦直樹

決算の諸係数は正確であることを確認

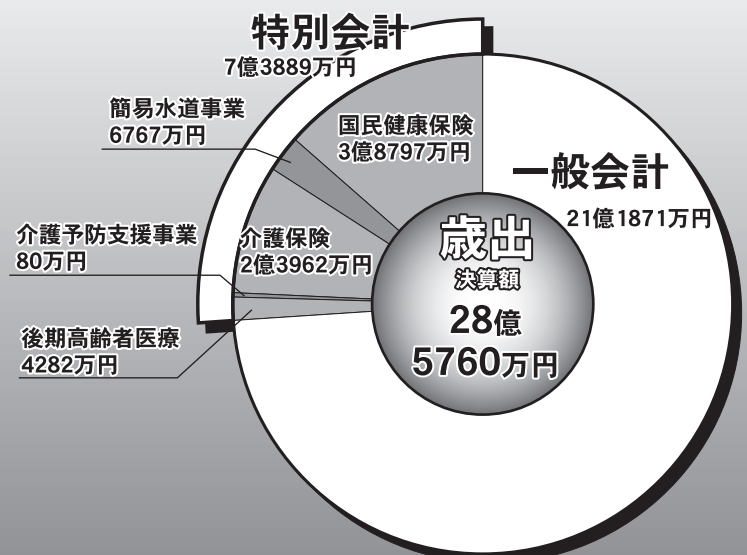
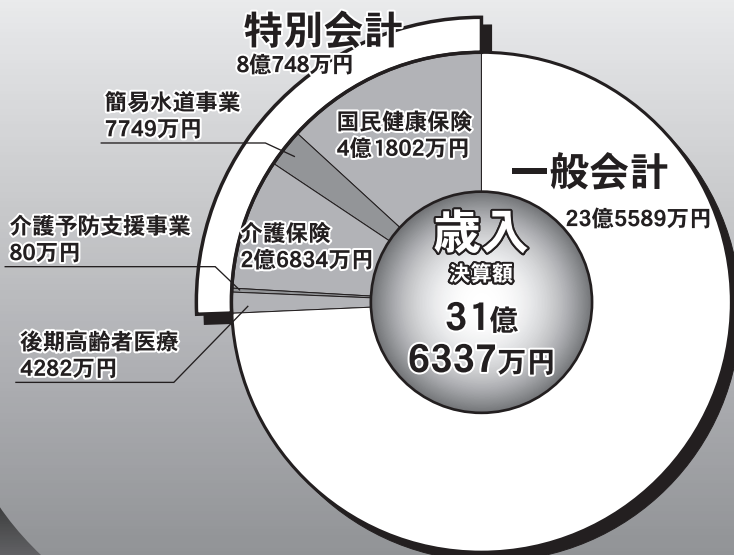
平成31年度も、自主財源の根幹である村税収入が増加し、経常一般財源は昨年度に引き続き増加しており、ここ数年は明るい兆しがみられていた。

しかし、今年に入り全世界で「新型コロナウイルス感染症」が蔓延し、経済活動の制限を余儀なくされたことから、日本経済に及ぼす影響は著しく、地方自治体の財政状況にも大きな打撃を及ぼすことが予想される。今後、経常一般財源を安定して確保していけるかどうか懸念されるところである。

戦後最大級とも言われる危機的な状況の中、今後も財源の確保を課題とし、この不安定な状況を乗り切るべく全職員が一丸となって邁進されることを望む。

一般会計・特別会計決算額

（万円未満四捨五入）



平成31年度決算

歳出総額28億5760万円を

認定

決算審査のおもな議論

土地所有者からの所有地の寄付

問（小林昭一） 相続や投資目的による購入などで所有した土地について、所有者からの寄付希望が年間数件あるとのことだが、どのような対応をしているのか。

答（税務課長） ジラゴンノ地区の別荘地の寄付希望が多いが、寄付を受け村の所有となった場合、管理事務所への管理料の支払いが発生し、非課税となり税収も入らなくなるため、村有地に隣接しているなど活用が見込まれる場合以外は基本的小断りしている。

養鶏場のハエ対策

問（渡辺正人） 今年はハエが多く発生しているが、今年も昨年度と同じ薬剤を使用しているのか。

答（住民課長） 今年度も昨年度と同じ「水性サフロチン乳剤」を養鶏場に配布している。

村と県で実施した現地での聞き取り調査によると、養鶏場で従来から独自購入し使用していた成虫駆除用の薬剤が今年はあまり効かなくなっているが、村で配布している幼虫用の薬剤は効果があるとのことであった。

なるシカくんぬいぐるみ

問（三浦直樹） なるシカくんのぬいぐるみについて、村のPRのために観光情報のQRコードなどを付けて販売したり、各種事業所へ配布したりなどの考えは。

答（企画課長） 観光事業者等へ配布したところ反響が大きく、問い合わせも多数ある。今回は100体製作のため単価も高くなっているが、今後、村の宣伝広告費と考え原価割れしてでも販売し、村のPRにつなげていくことも検討していきたい。その際は、道の駅限定という付加価値を付けて集客効果も図りたい。

富士五湖観光連盟への負担金

問（土屋文明） 富士五湖観光連盟へ50万円の負担金を支出しているが、村にとってどのようなメリットがあるのか。

答（企画課長） 連盟で広域の観光パンフレットを作成したり観光キャンペーンを実施するなどの活動が、村の観光PRにもつながっていると考えている。

危険なブロック塀の撤去工事等への補助

問（三浦雄一郎） ブロック塀等撤去改善促進事業費補助金（※）のこれまでの補助件数の実績は。また、補助率は他市町村と比較して妥当か。

答（振興課長） 当該補助事業は平成31年度から開始し、同年度実績が1件と、今年度は現在までに1件の申請受理及び補助を実施している。補助の制度設計にあたっては、県内外の例規を参考に本村に合う制度を策定しており、補助率は標準的なものと思われる。

※ブロック塀等撤去改善促進事業費補助金
地震時に倒壊する可能性のある、公道に面する民間の危険なブロック塀の撤去工事またはフェンス等への改善工事費用に対し村から交付する補助金。

※18件の質疑がありましたが、そのうち5件を掲載しています。

村当局には、事業を実施してただ終わるのではなく、事業の目的を明確にして実績や成果を把握し、課題・問題点を抽出したうえで次年度以降の計画に活かすというサイクルを確立し、村民の福祉向上に寄与するよう求めました。

平成31年度は

こんな事業が
行われました！

(万円未満四捨五入)



**道の駅なるさわ第1駐車場 4886万円
を整備**

国の交付金を活用し、経年劣化していた駐車場の舗装打ち替えの第1期工事が実施されました。
駐車スペースを増やし、動線や駐車枠も変更され、より使いやすくなりました。
今年度は第2期工事が実施され、西側を整備して完了となります。



**小学校パソコン教室 1067万円
の機器を更新**

これまで使用していた基本ソフト(Windows 7)のサポートが終了となり、パソコン本体も古かったため、新しい機器への入れ替えが行われました。



**トレーニングルームに 398万円
ボルダリングウォールなどを設置**

トレーニングルームの新たな設備として、壁面を横に進んでいくタイプのボルダリングウォールと、ランニングマシン2台が設置されました。



保育所・小学校にエアコン を設置

799万円

子どもたちの熱中症等を未然に防ぐため、保育所の各保育室や事務室
及び小学校の保健室にエアコンが設置されました。
また、小学校の各教室には壁掛け式の扇風機が設置されました。



なるシカくんが かわいいぬいぐるみに

40万円

観光PR用として、鳴沢村の人気者「なるシカ
くん」のぬいぐるみが製作されました。
現在のところ村の各施設や観光事業者等への配
布のみとなっておりますが、道の駅での販売など、
今後の展開も期待したいところです。



さくらの里公園の 遊具が新しくなりました

486万円

長年の使用により老朽化していたさくらの里
公園の遊具が撤去され、木のぬくもりが感じら
れる複合遊具が新たに設置されました。

これらの事業のうち、道の駅駐車場整備以外の5つの事業には、全国の皆さまから
ご寄附いただいた「ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)」が活用されました。

災害に備え防災倉庫や避難所 備品の購入費を可決

今定例会では、平成31年度の決算認定や財政健全化判断比率などの報告をはじめ、専決承認、補正予算、条例改正、人事案件のほか、議会へ提出された請願の採択、国への意見書提出など合計12議案が提案され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

補正予算審議では、避難所用ファミリールームや段ボールベッド及びそれらを格納する防災倉庫の購入費のほか、保育所ホ

ールへのエアコン設置工事費などが可決されました。また、会期中には、前年度の決算審査を踏まえて、議会から村長へ提案する「政策提言・要望」の協議も行いました。（詳細はP14）

最終日には一般質問に4名の議員が登壇し、風倒木対策や移住政策に関する考え、防災対策としてのドローンの活用など、さまざまな角度から村の姿勢を問いました。（詳細はP11～13）

専決承認

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、地域経済及び住民生活を応援し、地域における消費を喚起・下支えるために、鳴沢村・富

士河口湖町で使用可能な『くらし応援商品券発行事業』を行う費用について専決処分したことが報告され、承認しました。

使いみち

●くらし応援商品券発行事業 3400万円

財源

●純繰越金 3400万円



おもな補正予算

一般会計 1億2227万円を追加し、予算総額は25億5768万円に

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(8744万円)の歳入や、それを活用した様々な新型コロナウイルス感染症対策費などが予算計上されました。

おもな使いみち

●防災倉庫(11棟)	2401万円
●防災倉庫建築確認申請業務委託料	88万円
●避難所用ファミリールーム(173個)	491万円
●避難所用段ボールベッド(448個)	485万円
●避難所用自動ラップ式トイレ(10個)	311万円
●保育所ホールエアコン設置工事費	2343万円
●保育所ホールエアコン設置工事設計委託費	94万円
●コロナによる収入減少事業者への支援金	1500万円
●宿泊事業者等へのコロナ対策のための機器購入等補助	700万円
●新型コロナウイルス感染症指定管理者支援金(道の駅なるさわ)	250万円
●新型コロナウイルス感染症指定管理者支援金(富士山博物館)	375万円
●富士山博物館トイレ改修工事	821万円
●富士山博物館トイレ改修工事設計監理委託	66万円
●富士山博物館排煙窓修理調整工事	66万円
●授業用タブレット型端末(児童一人1台 計152台)	684万円
●リモート授業用カメラ等	80万円
●八幡神社駐車場整備補助金	631万円
●村道283号線拡幅工事	600万円
●村道351号線舗装打換え工事	245万円

●新庁舎建設に伴う用地等の補償調査業務委託料	557万円
●デジタル手続法における戸籍システム改修業務委託	435万円
●デジタル手続法における住民基本台帳システム改修業務委託	272万円
●地籍調査修正申出業務委託	150万円
●村税過誤納還付金	100万円
●鳴沢村ひとり親世帯臨時給付金	90万円
●活き活き広場 秋期除草剤散布業務委託料	62万円
●小児救急医療事業負担金	43万円
●投開票所等の新型コロナウイルス感染症予防備品	33万円
●予備費	500万円
●村民体育祭り実施事業費	△188万円
●ロードレース大会実施事業費	△1744万円

おもな財源

●国庫支出金	9960万円
●繰越金	3936万円
●繰入金	△400万円
●諸収入	△1,270万円

(万円未満四捨五入)

おもな条例改正

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者への支援を拡充

鳴沢村商工振興災害対策資金貸付条例の一部改正

新型コロナウイルスにより経営に影響を受けた村内事業者の方にとって、より活用しやすいものとするた

め、保証料や利子について、予算の範囲内で村が全額補助することに改められました。

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源等の確保を求める意見書」を提出

- 議案提出者 渡邊 明雄
- 意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

〈意見書要旨〉

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

「教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願」を採択し、意見書を提出

- 請願者 南都留地区PTA協議会 会長 大谷 哲也 ほか3団体
- 議案提出者 三浦 直樹
- 意見書提出先 意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

〈意見書要旨〉

- 1 計画的な教職員定数改善を推進するとともに、少人数学級の推進を図ること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に復元すること。
- 3 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

引き続き、村の財政は「良好」です

平成31年度 普通会計財政健全化判断比率

平成31年度決算に基づき、財政健全化判断比率が監査委員の意見を付して報告されました。

本村はいずれの数値も早期健全化基準を下回っており、健全財政が保持されています。

●実質赤字比率

- 14.09% (早期健全化基準 15%)

普通会計における、実質赤字の標準財政規模(標準的な収入額)に対する比率です。

●連結実質赤字比率

- 18.27% (早期健全化基準 20%)

すべての会計における、実質赤字の標準財政規模に対する比率です。

●実質公債費比率

- 2.10% (早期健全化基準 25%)

公債費(借金の返済額)や、これに準じる額の標準財政規模に対する比率です。

●将来負担比率

- 329.00% (早期健全化基準350%)

将来負担すべき額の標準財政規模に対する比率です。

健全化判断比率のうち、1つでも早期健全化基準を超えた場合は「財政健全化計画」を定めて健全化に努めなければなりません。本村はいずれの数値も良好です。

平成31年度 水道事業会計資金不足比率

水道事業会計(簡易水道事業)の資金不足比率も同様に報告されました。

資金不足比率とは、資金不足額の事業の規模に対する比率で、資金不足比率が

経営健全化基準を超えた場合は「経営健全化計画」を定めて健全化に努めなければなりません。本村は赤字がないため良好な状態にあります。

人事

教育委員会(※)委員の小林俊司氏が9月30日で任期満了となるため、次の方の任命に同意しました。

任期は4年間となります。

※教育委員会

教育長と4人の委員で組織する合議制の執行機関で、性質上首長から独立している。公立学校その他の教育機関を管理し、学校の組織・教育課程・教職員などに関する事務を取り扱うほか、社会教育・文化財・スポーツなどに関する事務を管理、執行する。



渡辺 みき子 氏
(鳴沢2組)

総務教育厚生常任委員会

委員長
三浦 雄一郎

9月3日に総務教育厚生常任委員会を開催し、前回に引き続き議会資料の閲覧・整理用としてタブレット端末の導入の件や、今後の委員会活動について協議を行いました。

◆タブレット導入の検討について

先進自治体である昭和町議会のタブレット導入に関する資料や、タブレット・ペーパーレス等のシステム運営業者から提供いただいた資料を参考に協議し、今後システム運営業者による研修を年度内に受講することや、導入に向けて継続して協議していくことなどを決定しました。

◆座談会の再開について

新型コロナウイルス感染症予防のため開

催を見送っていた住民との座談会について、同感染症の状況を見ながら感染予防対策を講じた上で、次回委員会より再開を予定することとしました。

座談会の対象団体は4Hクラブ、スポーツ少年団役員、青少年育成会、ブルーベリー応援隊などを予定しておりますので、各団体関係者の皆さまにはお手数をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

建設産業経済常任委員会

委員長
渡辺 正人

9月8日に、建設産業経済常任委員会を開催し、公共施設の現況や道の駅リニューアルなどについて協議を行いました。

◆公共施設の状況把握について

村の公共施設の今後の管理や改修、建て替え等の参考資料となる「公共施設カルテ(※)」の作成を議会から依頼しておりましたが、それが概ね完成したとのことで総務課長より内容説明を受けました。

これを参考に今後の予定について協議し、次回の委員会でいきやりの湯等の視察を実施することを決定しました。

※公共施設カルテ

村が所有する公共施設の“見える化”を図るため、所在地をはじめとした基本情報や施設面積、建設年月日、修繕履歴、収支状況、利用状況などをまとめた資料。

◆道の駅リニューアルについて

これまでに2回開催した「道の駅専門部会」での協議事項を報告し、その内容をもとに意見交換を行いました。

これについては、今後も協議を重ねて事業の目的・主旨などを明確化し、必要に応じてアンケート実施などを検討していくこととしました。

◆リサイクル業・養鶏場対策について

リサイクル業への村の対応や養鶏場のハエ対策について、振興課長から現況報告を受け、今後の対策についての協議を行い、執行部へ対策強化等をお願いしました。



三浦 直樹 議員

Q 風倒木対策の補助制度活用は

A 制度設計等詳細がわかり次第検討

これは、事業費の90%が補助され、市町村負担額10%のうち7割が特別交付税措置されるなど、非常に有利な制度である。

一方で、全体の事務処理の流れや市町村の役割について明確になっておらず、市町村、森林所有者、東京電力等施設管理者の3者で結ぶ協定書の案や、伐採に係る単価等、事業の制度設計ができていない状況である。今後、詳細がわかれば実施について検討していきたい。

重要な電源が通っていて倒木リスクが高い森林の徐間伐で、村が事業実施主体の場合、約97%が補助金等で、村の費用は実質約3%という、とても有利な補助制度がある。

大坂道や茅つけ林道などの台風等の倒木停電を低減するため、この補助制度を活用する考えはあるか。

●村長 小林 優

本年4月に、山梨県電力供給体制強靱化検討会議が設置され、8月に山梨県電力供給体制強靱化戦略が作成された。ここで、重要インフラ施設周辺森林整備制度を活用した、二次被害対策としての事前伐採が盛り込まれている。



台風で倒れ道路をふさぐ倒木

Q 日本広販跡地の有効活用への方策は

A 関係者と問題解決に向けて協議を継続

ゴルフ場開発が頓挫して30年近くたつ旧日本広販(株)跡地だが、今後、様々な企業の進出が見込めるよう、少しずつ現状を改善すべきでは。開発権利保有会社には権利の放棄を、県には、知事が代わったこともあり早く開発許可の取消しを実

行していただく。地目も、雑種地から山林へ変更するなど対策していく考えは。

●村長 小林 優

新たな開発を進めるためには、日本広販(株)が平成3年5月31日付で山梨県知事に対し提出している森林法の規定に基づく林地開発許可の廃止届の提出が求められているとともに、(株)富士ビレッジカントリークラブが預託している防災工事補償金の処理が必要となる。

現在も関係者と問題解決に向けて協議を進めているが、山梨県とも連絡を密に行い、継続して問題の解決に努めていきたい。

地目については、登記地目ではなく、固定資産税の課税に用いられる現況地目のことと思われるが、ゴルフ場予定地内の山林であった筆の現況地目は、現在も山林となっている。



開発時のえん堤が残る日本広販跡地



土屋 文明 議員

地域おこし協力隊(※1)の受入れや、東京圏在住者を対象とした移住支援金(※2)事業を予算計上しているが、事業の周知方法と進捗状況は？

県内では、各行政よりSNSを活用したやまなし移住相談窓口を情報発信しており、ZOOMやスカイプを使って、自治体担当者と直接ウェブで話せるようである。また、8月末には県内6市町村合同でオンライン移住相談会が実施されていたが、当村でも同様の事業に参画する考えはあるか。

●企画課長 三浦 寿得

地域おこし協力隊を令和元年6月から2ヶ月間と、10月から再度3ヶ月間募集したが、ともに

(※1) 地域おこし協力隊

地場産品の開発等の地域おこしの支援や住民の生活支援など、地域における課題解決のために、それらに従事する隊員を地方公共団体が募集・委嘱し、「地域協力活動」を行いながら最終的にはその地域への定住を図る取り組みで、全国各地で実施されている。

(※2) (鳴沢村)移住支援金

東京一極集中の是正、人口減少・少子高齢化対策のため、本村に移住し、就業または起業した方に対して移住支援の補助金を支給する。

Q オンラインでの移住相談の考えは

A 移住支援策を充実した上で対応

応募がなかったため、令和2年3月からは募集期間を限定せず随時受付とし村のホームページ及び一般社団法人移住・交流推進機構の地域おこし協力隊サイトで募集している。これまで4名の相談を受けたが応募には至っていない。移住支援金事業は村のホームページ及び山梨県移住支援、就業マッチングサイトで周知しているが、現時点では鳴沢村への移住、就職を希望する応募はない。

山梨県では、やまなし移住、定住ポータルサイトをメインにフェイスブックやツイッターも活用して情報発信を行っており当村も参加している。「甲斐適生活」「やまなし暮らし手帳」「ふるさと回帰支援センター」のサイトにおいて情報発信を行っており、鳴沢村での地域おこし協力隊募集や移住支援金制度についても当サイトに掲載している。

今後も住宅取得等に対する補助金を検討し、各種移住支援策を充実した上で、オンライン移住相談を行っていきたい。



「やまなし移住・定住総合ポータルサイト」トップページ画面

Q 防災対策としてドローンの活用は

A ドローンの購入は考えていない



渡辺 次男 議員

近年、多くの自治体で災害発生時のドローンの活用事例や有効性が紹介されている。本村でも迅速な復旧に繋げるためにドローンを活用する考えは。

●総務課長 渡邊 安司

山梨県では平成30年3月にドローン推進計画を策定し、消防学校で使用方法などの研修を実施している。

富士五湖消防本部でも秋季総合防災訓練でドローンを使用した訓練を実施した。

このほか、富士・東部林務環境事務所と富士河口湖町が行方不明者の捜索を使用目的として整備した。

ドローン1機購入には、70万円程度の費用がかかる。また、ドローンの技術開発が早く、3年ほどで部品調達ができなくなる場合もあると確認している。

操縦する職員の研修も必要であり、少ない職員の中での対応は難しい状況である。



富士五湖消防本部によるドローンの訓練
(画像提供：富士五湖広域行政事務組合)

大規模な災害発生時には、富士五湖消防などの公的機関をはじめ民間の測量会社等にも対応を依頼する考えであり、現時点では村独自のドローンの購入は考えていない。

Q コロナ禍による中止事業の代替策は

A 感染状況の変化を踏まえ適宜判断

新型コロナウイルス感染拡大抑制対策として中止となった各種事業について、代替策など事業目的達成のためにどのような指示や提案を行ったか。

新生活様式やガイドラインを考慮した今後の方針は。

●村長 小林 優

3月上旬に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、公共施設の利用の在り方や住民への周知、村主催のイベント等の協議、対応策等を随時指示し決定してきた。

対策本部会議では、感染拡大防止を最優先として村民体育祭や富士・鳴沢紅



CATVで放映されている鳴沢村健康体操



佐藤 博水 議員

葉ロードレース大会の中止を判断した。

健康寿命を延ばす取組として「鳴沢村ご当地体操」などをCATVで放映するなど各種事業を工夫しながら推進した。

小学校、保育所の運動会や特定検診などは、感染予防対策を施しながら事業を実施した。

今後の村主催の事業・イベント等については、感染が収束し一定の生活に戻る必要がある。このようなことから、感染状況の変化を踏まえ適宜判断する。

村民の皆様にも引き続き3密を防ぐなど、新しい生活様式を取っていただきたい。

村長へ「要望書」を提出

9月25日に正・副議長が村長を訪問し、18日の議員協議会でとりまとめた要望書を提出しました。

地方議会には「執行機関の監視」と「政策形成」の2つの役割があります。

このことを再認識し、議会の責務として政策立案の役割を果たすべく全議員で協議し、議会の総意として要望書を提出いたしました。



1. 道路・交通について

(1) 村道の改良等整備の際は、現地の状況にもよるが、利便性を考慮して4m以上の幅員を確保して整備していただきたい。

(2) 国道139号の吉野荘東側の交差点から鳴沢ゴルフ倶楽部へ通じる村道Ⅱ-5号線は、近年通行車両が増え、スピードを出して走行する車両が増加している。

児童が通学のために使用していることも考慮し、鳴沢ゴルフ倶楽部下交差点までの外側線の延長や、減速路面標示・グリーンベルトの敷設など、減速対策・安全対策を講じていただきたい。

2. 農業振興について

(1) 堆肥やサンライムはかなりの量を使用する方もおり負担が大きいため、品質の良い農作物の生産を推進するためにも、助成割合を上げるなどして、必要とする農業従事者への支援を手厚くしていただきたい。

(2) 獣害対策として、超音波による害獣撃退装置等を有害獣防除用施設設置補助金の対象としていただきたい。

3. 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 新型コロナウイルス感染症予防策の一環として、非接触型体温計の村有施設への配備や、スポ少等各種利用団体への貸与（例えば、鍵の貸し出しの際など）を検討していただきたい。

(2) コロナ禍で村民の運動不足・体力低下が懸念されるため、トレーニングルームのボルダリングウォールや機器類を活用し、新型コロナウイルス感染症予防策を講じたうえで、トレーナーなどによる体力づくり教室を開催して村民の健康増進を図られたい。

4. その他

(1) 村内の火災の発生箇所が速やかに確認できるように、火災発生情報を鳴沢村メールで配信していただきたい。

(2) 今後さらに加速すると予想される高齢化社会に備え、高齢者の活躍の場を確保する施策の一環として、シルバー人材センターの周知及び登録や活用の推進を図られたい。

(3) 全国的にあおり運転などの危険行為が増加していることを鑑み、村職員の安全確保及び万が一の事故の際の状況記録のため、公用車へのドライブレコーダーの設置を推進されたい。

議会だよりモニター が決まりました!

8月発行の議会だよりNo.41について、
次のようなご意見等をいただきました。

議会だよりについてご意見やご感想をお寄せいただく「議会だよりモニター」として10名の方を委嘱いたしました。

モニターの皆さまからのご意見等を参考に、今後もよりよい議会だよりをつくっていきたいと思います。

コロナ禍の中にありながら、表紙の写真は微笑ましくとても良いと思います。

また、記事の中に写真を多く取り入れてあるので、堅苦しくなく、親近感があり、全体的に読みやすいと思います。これからもよろしくをお願いします。

(50代 男性)

今まではなんとなく読んでいましたが、改めて読んでみると、村で取り組んでいる活動内容など、村のことを知るのに役立つものであると気付きました。

また、表紙の文面と子供たちの表情が豊かで感動しました。

(60代 女性)

新型コロナウイルス感染症対策として、高校生以上の村民1人につきマスクを50枚配布していただきましたが、入手するのが非常に困難な中でとても助かりました。感謝いたします。

「追跡リポート」は、答弁を受けての現在のすがたが見えて理解しやすいと感じました。

(40代 男性)

村長さんや村議会議員の方々が、私たちが強く不安に感じている新型コロナウイルスの対策、予算について、深く議論されていることが伝わりました。

議員の質問と村長の解答という形式、グラフや表、写真を取り入れ、わかりやすかったです。

(40代 女性)

全ページに渡って写真を用いていて読みやすく工夫されている。

表紙画像は子供たちの生き生きとした様子が分かり、親しまれる議会報になっている。

追跡リポートは定例会の質問に対する回答と現状がわかりやすい。

(70代 男性)

定例会の決定事項の掲載について、補正予算、専決事項、条例改正等、余白を多くしページを分けた事で読みやすく分かりやすいと思いました。

広報との差別化ができていて、財政面や対策などの行政の動きが優しく、わかりやすく表記されてると思いました。

(30代 女性)

今回議会だよりを拝見したところ、3ページにもう少し円グラフや棒グラフを活用すると、見る人が書いてある内容が見やすく理解しやすくなると思います。

(20代 男性)

私のような結婚を機に鳴沢村に来た人にとっては、議員さんが誰でどういう人なのかは正直分かりません。議会だよりを通じ、議員さん個々の村に対する熱い想い(鳴沢村未来予想図)、理想の鳴沢村に近づけるために日頃行っている議員活動を知りたいです。

(30代 女性)

議員の方々のご活躍されている行動に感謝いたします。

内容が硬い中、表紙を見てほっと心が和みます。これからも表紙だけはほっとする写真にして欲しいものです。

それと、村民の「要望」のコーナーを設けて欲しいです。村民が議会に何を望んでいるか、どうして欲しいかがわかりません。

(80代 男性)

子供も大好き！手作りパン

渡辺 知香

私は、鳴沢村へ嫁いで今年で12年目になります。鳴沢村は自然豊かで周りの方々もとても暖かく、とても住みやすい村だなと思います。私の子供たちもすくすく成長し、毎日楽しんで学校や保育所に通っています。

さて、私は結婚して子供が生まれてから趣味を見つけました。それはパンをすることです。生地をこねたり、丸めて成形したり、オーブンで焼いていると家中にパンの良い香りが漂います。パンが焼けると子供



たちでパンの取り合いが始まります。確かに焼きたてのパンはとってもおいしいです。私も焼きたてのパンの香りがとても好きです。子供たちがおいしいと言って食べてくれるので、パン作りに夢中になれて良かったなと思います。

今はパン作りの他にピザを作ったりしています。これからもっとパンやピザ作りの勉強をして、自分のオリジナルが作れるようになりたいと思います。もっともっと成長していきたいと思います。

広報常任委員推薦！ 鳴沢のおすすめ！

広報常任委員
土屋 文明

ボルダリングウォール

トレーニングルームに新設された話題のボルダリングウォール、カラフルな4色のホールドが配置された優しい木の壁は高さ2.2m横幅11m以上で、下に厚いマットが敷き詰められ安全に楽しめます。

SのスタートホールドからGのゴールホールドまでを、レベルに合わせパズルを解くように頭脳を使って進みます。

一人でもできるスポーツですが、アドバイスし合い一緒にトライして家族で楽しみましょう。ボルダリングで元気になろう！



問い合わせ 教育委員会 ☎ 85-2606

総務教育厚生常任委員会より

10月に入り気温もぐんと下がり、新型コロナウイルス感染症とともにインフルエンザの流行も懸念される季節となりました。

どちらも以下のような対策が感染拡大予防につながります。一人一人ができる対策をしっかりとって行動しましょう。

◆マスク・手洗い・うがいといった基本的な予防策は今後も継続していきましょう。

◆人出も増え賑わいを取り戻しつつあるため錯覚しがちですが、感染リスクが低下したわけではありません。会食や旅行の際は感染予防対策を十分に行いましょう。

◆バランスの良い食事を心がけ、適度な運動をして睡眠も十分にとり、免疫力を高めましょう。

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開しています。また、本会議の会議録も公開していますので、ぜひアクセスしてください。

